

7 がん対策

〔現況及び施策の方向〕

第2次「がん対策推進計画」（平成25～29年度）の、がん対策の6つの柱（予防、検診、医療、緩和ケア、情報提供・相談支援及びがん登録）による「がん対策日本一」の実現に向けた総合的な取組を推進する。

〔事業の内容〕

1 がん予防対策の推進

【新】受動喫煙防止対策の推進（予算額4,718千円）

がん対策推進条例における受動喫煙防止対策（平成28年4月1日施行）に関する、普及啓発や飲食店等における禁煙・分煙等の表示の義務化を推進する。（平成27年度創設）

2 がん検診の推進

(1) がん検診普及啓発強化事業（予算額18,446千円）

がん検診啓発特使を活用した効果的な手法による情報発信など、「がん検診」への関心を呼び起こす全県的な啓発キャンペーンの展開等の取組を実施する。（平成23年度創設）

(2) がん検診個別受診勧奨支援事業（予算額29,724千円）

大腸がん検診未受診者への受診勧奨の取組効果を踏まえ、新たに女性特有のがん（乳がん、子宮頸がん）検診を対象に加え、受診勧奨・再勧奨に取り組む市町への支援や、地域のボランティアの活用など、実際の受診行動につながる取組を推進する。（平成23年度創設）

(3) がん検診精度管理推進事業（予算額4,926千円）

市町が実施するがん検診の精度向上のため、専門家による評価や市町担当者等への研修を実施する。（平成23年度創設）

3 がん医療提供体制の充実

(1) 広島がん高精度放射線治療センター整備等（予算額4,375,492千円）

平成27年秋の開業に向けて、引き続き、施設設備の整備などの準備を進め、開業後には指定管理者による運営を行う。（平成22年度創設）

- ・建設工事，施工監理，治療に必要な医療機器等の整備
- ・開業前準備，開業後の管理運営 等

(2) 緩和ケア推進事業（予算額45,292千円）

がんと診断された時からの緩和ケアの実施及び住み慣れた地域で緩和ケアを受けることができる体制づくりを支援するため、「緩和ケア支援センター（緩和ケア支援室）」を運営し、情報提供、総合相談、専門研修及び地域連携を進め、在宅緩和ケアコーディネーターの配置により、在宅緩和ケア提供体制を充実・強化するとともに、県内医療機関の緩和ケアチーム等の活動実績を把握・評価・公表する仕組みづくりを行いつつ、緩和ケア・がん性疼痛看護認定看護師の養成を支援する。（平成16年度創設）

(3) がん診療連携拠点病院機能強化事業（予算額 100,000 千円）

がんの専門的医療の実施，地域のかかりつけ医等に対する研修，がん医療に関する情報提供などを行うがん診療連携拠点病院の機能強化を図るため，相談支援，研修に要する経費等について支援する。
（平成 18 年度創設）

第 1 表 がん診療連携拠点病院機能強化事業の補助状況
（単位 か所，千円）

年 度	施 設 数	補助額（予算額）
平成 27 年度	13	100,000
平成 26 年度	8	112,000
平成 25 年度	8	112,000

※ 平成 27 年度から県指定に対する補助制度を創設

第 2 表 がん診療連携拠点病院の指定状況

（平成 27 年 4 月 1 日現在）

区分	区 分	圏 域 名	病 院 名	指定年月日
国指定	県がん診療連携拠点病院	広 島	広島大学病院	平成 18 年 8 月 24 日
			県立広島病院	
	広島市立広島市民病院			
	広島赤十字・原爆病院			
	地域がん診療連携拠点病院	広島西 呉	広島市立安佐市民病院	平成 22 年 4 月 1 日
			厚生連広島総合病院	平成 18 年 8 月 24 日
		呉医療センター		
		広島中央	東広島医療センター	
		尾 三	厚生連尾道総合病院	
		福山・府中	福 山 市 民 病 院	
備 北	市立三次中央病院			
県指定	がん診療連携拠点病院	呉	中国労災病院	平成 24 年 3 月 1 日
			呉共済病院	平成 22 年 11 月 16 日
		尾 三	尾道市立市民病院	
		福山・府中	福山医療センター	
		中国中央病院		

4 がんに対する正しい理解と行動変容の促進

(1) Teamがん対策ひろしま推進事業（予算額 8,271 千円）

がん予防，検診，患者団体支援，就労支援に取り組む「Teamがん対策ひろしま」登録企業の拡大を図るとともに，その取組を支援し，地域全体でのがん対策を推進する。（平成 25 年度創設）

(2) がん対策サポートドクター・がん検診サポート薬剤師実施事業（予算額 3,957 千円）

身近なかかりつけ医や薬剤師を「がんよろず相談医」，「がん検診サポート薬剤師」として養成し，検診の受診勧奨やがん医療ネットワークへの適切な紹介等を実施する。（平成 24 年度創設）

(3) 広島県ピアサポーター養成事業（予算額 1,409 千円）

がん患者等の相談支援を行うがん経験者等をピアサポーターとして養成するとともに，活用に向けた検討等を行う。（平成 25 年度創設）

(4) 「がん教育」推進事業（予算額 3,092 千円）

がんと向き合う心と知識を養うため，学校教育への「がん教育」の導入に向けた取組を実施する。（平成 25 年度創設）

(5) がん患者・家族支援事業（予算額 3,980 千円）

患者団体等による電話相談事業を実施するとともに，「広島がんネット」や地域の療養情報サポートブックにより，がんに関する様々な情報を提供する。（平成 20 年度創設）